

下恵土地区懇談会（各種団体長懇談会）での主な意見と回答

日 時 平成27年5月23日（土）午後5時～午後7時20分

場 所 下恵土公民館

出席者 43人

市長による講演「『住みごこち一番・可児』を目指して」の後、質疑応答が行われました。

【質問】市の公共施設に対して、国等から補助金は出ていますか。

【回答】建設時に補助金の交付を受けているものはあります。また、市文化創造センター・アークは、文化庁の「劇場・音楽堂等活性化事業」の特別支援事業で、全国トップレベルの15の劇場・音楽堂の一つに選ばれ、5年間のソフト事業補助を受けています。

【質問】市内にある橋梁の維持管理費等は、どのような状況でしょうか。

【回答】橋梁は道路管理者が管理しており、市道にかかる橋については市が維持・修繕等を行っています。国や県から補助金が交付される場合もありますが、厳しい財政状況の中で予算も削減されているのが現状です。

また、今年3月に策定した「可児市公共施設等マネジメント基本方針」では、橋梁を含む市の公共施設を維持するためには今後50年間で約300億円が必要になると予想しており、今後効率的な運営方法などについて具体的な計画づくりを進めていく予定です。

【質問】学校給食では、アレルギーのある子どもにどのような対応をしていますか。

【回答】できる限りの対応はしていますが、アレルギーが非常に多様化しており、すべてに対応することは困難な状況です。そのため、中には自宅から食べられるものを持ってきていただく事例もあります。

【質問】医師や保育士等の不足が問題になっていますが、市として何か対応はしていますか。

【回答】医師会や民間保育園など関係先と連携して取り組んでいますが、非常に難しい問題で、なかなか解決策が見出せない状況です。良いアイデアがあれば、ぜひお寄せください。